



森のなかま

2017年5月号

NO. 109 (継続254号)

事務所が移転して1年が経ちました

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp>

発行人 久保 重明

〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 TEL046-297-0301・Fax046-297-0302

赤ちゃんと、ともにはぐくむ森づくり

“平成28年度 成長の森 植樹会 が開催されました”

参加人数：152名 (内 子供57名)
 場所：県立21世紀の森
 日：2017年3月11日 (土)
 天候：曇り時々晴れ

平成28年度「成長の森」参加記念 県立21世紀の森

神奈川県産 無花粉スギ植樹

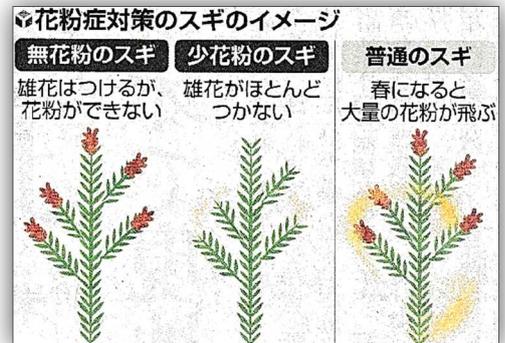


<文:インストラクターリーダー(理事): 松永 廣 11期>

子供の健やかな成長に願いを込めて「平成28年度の成長の森植樹会」が県立21世紀の森で開催されました。

スギというと春の花粉症を思い浮かべ、あまりいい印象が浮かばないのが一般的と思いますが、今回植樹するのは無花粉スギです。無花粉スギと言うと遺伝子操作をしていると考える人もいますが、遺伝子操作はしていません。

厚木市にある県立自然環境保全センターの研究者が地道な調査をして自然界にある少花粉スギや無花粉スギを発見して、研究交配を繰り返して無花粉スギが植樹出来るようになりました。神奈川県や富山県で見つかった無花粉スギは雄性不稔という性質のもので、花粉をつくる雄花はできるが花粉が飛散しないという特徴があります。



平成27年神奈川新聞より



この植樹会では初めて採用するコンテナ苗のインストラクターへの説明



今回植樹した苗はコンテナで育てたものです。コンテナ苗は従来の裸苗にくらべて活着率が優れています。植樹のポイントは根鉢が生分解性プラスチックケースに覆われているため、植樹のとき生分解性プラスチックが地面より露出しないようにすることです。埋め戻した土より生分解性プラスチックが露出していると水分が蒸発して枯れる恐れがあります。林業は植樹に始まって、下刈り、枝打ち、間伐と長い年月と適切な手入れをして見守り育てる必要が有ります。まずは下刈りが今年の夏にも必要になりますので、汗を流していきたいと考えます。



下部より見た植栽場全景



植栽場へ向かう



お子様の名前が刻まれた表示板

感想記 <インストラクター：小林 真理恵 14期>

薄曇りのすっきりしないお天気の中、毎年恒例の『成長の森 植樹祭』が平成29年3月11日(土曜日)に開催されました。今年は初めての試みのコンテナ苗です。どのようなものが来るのかわかりませんでしたが、例年の苗よりも扱いやすく、定着率も高いとのこと。神奈川県産無花粉スギの3年生50本と2年生500本、合計550本が参加者152名(うち子供57名)により植樹されました。

大きく成長することを期待しながら小さな手でゴミを取りながら土をかけ、周りを一生懸命踏み固めていきます。どのご家族もお子様も植樹した苗木と共にうれしそうに記念撮影されていました。

前回植樹した木とも記念撮影をしたいとお話されるご家族も多く、恒例行事として楽しまれている様子。

参加者が多く訪れ始めた10時過ぎからは晴れ間も見え、景色を楽しみながら充実した一日を過ごされていたようです。

四季折々に21世紀の森を訪れ、お子様同様、植樹した森の成長も見守って頂けたらと思います。

お子様も植樹された無花粉スギも大きく健やかに育ちますよう心より祈念申し上げます。



この子の名前はあったかな



植栽風景



(写真撮影：上田⑩、松永⑪、小林⑬、広報 松本⑭)

私達の会のホームページが最優秀賞(林野庁長官賞)を受賞

第51回林業関係広報コンクールのホームページ部門において4月3日付けで私達の会のホームページが最優秀賞(林野庁長官賞)を受賞することが出来ました。ありがとうございました。

(参考：一般社団法人全国林業改良普及協会のHPアドレス：<http://www.ringyou.or.jp/>)

かながわ森林インストラの会のホームページはURL <http://www.forest-kanagawa.jp> または下記で検索できます。

かながわ森林インストラクターの会

検索

森林文化部会 『県産材木材市場展示場見学、開札風景見学』

2月16日(木) 11:30~14:30、晴れ 参加者:15名
 神奈川県森林組合連合会林業センター(秦野市菖蒲 317)

<文:森林文化部会 小笠原 多加子 10期>

(写真撮影:赤崎 さほり 12期)

(全景のみ広報 松本 (別日に撮影))

渋沢駅に集合してタクシーに分乗して国道246号を南下して林業センターにむかった。センターに入場すると奥には切りだされた丸太が所狭し、と並んでいた。



林業センター入口看板

林業センター全景



246号
 渋沢 ⇄ 秦、松田

センター長からの説明



開札が始まる迄センター長の栗原様から市場の様子を説明して頂いた。

林業センターは県内唯一の原木市場で市は年7回程度の入札方式(10~4月)、その他の時期は(5~9月)は相対取引による即売方式をとっているそうである。

他県の原木市場ではセリ方式を行なっているとところもあるようだ。



仕様明細書

切りだされた材はA材(傷やしみがなく角材がとれるまっすぐな木材)、B材(A材には劣るが合板や集成材になる)などに分けられる。A材は札掛などに多くみられる。虫の害が多くみられる小田原・湯河原の材はB材になっている。

丸太には仕切明細書が貼られており丸太のカタログ番号・長さ・木口径・本数・材積が記入されていた。



12時から開札がはじまるので事務所内に移動する。開札場には業者の方はあまり見受けられないのには驚いた。開札日の2日前から入札は始まっており、購入希望の業者は公売明細書(売られるすべての丸太が番号順に仕切明細書の内容が掲載されている)と実物を見て入札価格を決め、入札カードに記入して入札箱に入れておく。入札業者になるのには保証金10万円が必要である。

入札箱からカードを取り出し



開札はセンター職員が入札箱からカードを取り出しカタログナンバー毎に仕分ける。1番高い価格をつけた業者名(番号)を読み上げて落札になる。

差し値が決めてあり、差し値に届かない場合は不成立となる。また同札(同じ値)の場合にはくじで落札者を決めていた。開札結果はすぐにFAXで業者に連絡が入ることになっているため、開札場にはあまり業者の方の姿がみられなかったのである。今回は完売となった。

カタログナンバー毎に仕分け



落札結果の発表



センター長よりの座学講義

その後、センター長より視察資料を使って座学が行なわれた。神奈川のB材となってしまった材は石川県の大手合板メーカーに持ち込み製品加工してもらっているそうだ。県産材ヒノキ 100%構造用合板となって買い取り「丹沢・箱根ヒノキ合板」として県内で販売されているそうだ。原木価格は昭和をピークとして下降をたどっているが、いまは補助金がでているので黒字になっているそうだ。1立方メートルに13500円の行政支援があるが支援がなくなった時がどうなるか心配であるとのことだった。



加工され展示されている札掛のヒノキ
100~110年物



手入れがよいと良材になるとわかっているが人手不足等の問題があり難しい問題になっている。県材を使用して住宅を建築すると助成金があるので皆さんも是非建材を使用して欲しいということであった。札掛のヒノキは新歌舞伎座の舞台にも使用されていてブランド材と聞いてちよつとうれしい気分になった。

落札業者の番号が記入



帰り際に再び原木のところに立ち寄ってみると仕切明細書がはずされ、カタログ番号の下には落札業者の番号が記入されていた。

参加者: 菊池① 滝澤⑤ 武者⑦ 阿部⑧ 飯澤⑨ 水津⑨ 内野⑨ 小林⑩ 大澤⑩ 福島⑪ 安井⑫ 赤崎⑫ 古舘⑬ 谷⑭ 小笠原⑯



かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』の支援団体としても取組んでいます。全国で5番目/NPO法人で初めて委嘱されています。

活動短信

今回の掲載は平成29年3/4~4/8です。
寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。



無料イラストより



蟄虫啓戸 3/5~3/9 頃
ちっちゃゆうこをひらく
冬ごもりをしていた虫たちが
動き始める
第七候 啓蟄 初候

玄鳥至 4/5~4/9 頃
つばめきたる
燕(玄鳥)が南から飛来する
第十三候 清明 初候

活動短信への投稿概略フォーマットと略語の説明
ページレイアウトは気にせずベタ書きで結構です。

写真もあれば1枚添付ください。

◆ 活動団体・活動名 等

- 日 日付(できれば時間と天気も)
 - 場 場所 (例:相模原市緑区 長竹承継分収林)
 - 参 参加者 人数
 - 県 神奈川県 環境農政局 緑政部
水源環境保全課 水源の森林推進グループ
 - 財(公財)かながわトラストみどり財団、 看護師
 - スタッフ 例 小田原市森林組合XX様
例 川崎市公園緑地協会・XX様
 - イ インストラクター(○数字:期) :研修枠
- 以下の本文を概ね400字前後を目安として執筆ください

リーダーは責任を持って執筆者の選択と執筆後のチェックをお願いします。(執筆者もお忘れなく!!)
活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします。

◆ 15期生養成講座「自然観察実習」

- 日 3月4日(土) 10:00~15:20 晴れ
- 場 やどりき水源林 林道コース
- 参 15期養成講座受講生 34名
- 財 内田様 佐々木様
- イ L女川⑨、内野⑨、小林⑩、赤崎⑫、小池⑫

「自然観察は、われわれインストラクターの活動の基礎となるものだ。自然の美しさ、不思議さ、尊さのほか、森林の働きや森林整備の重要性などを参加者に伝えていく。そして参加者と自然との“仲を取り持つ”ことが、リーダーの役割なのである」。

女川チーフリーダーのオリエンテーション後、班ごとに分かれて、やどりき水源林・林道コースで15期生の「自然観察実習」を行った。

神奈川県森林面積の割合や人工林の現状、水源林

や神奈川県の水について説明した。それに加え、下見で見つけた素材について、今までの経験をもとに、できるだけ印象に残るよう話し方を工夫して解説していった。

6年前、12期生として受講した自然観察実習でのレポートを読み返してみると、「参加者に問いかけしながら観察会を進め、さらに自然の成り立ちについての“背景”やポイントを深く掘り下げた説明ができればと反省した」とあった。この思いは今日、伝えることができたのだろうか――。

植物はまだ春を待っているような状態であったが、花芽がほころび始めたフサザクラがあった。自然観察に関する興味・関心が15期生の中に“芽生え”てもらえればと思った1日であった。

(記 小池 哉 ⑫)

◆ 日揮株式会社 パートナー林活動

新入社員の間伐体験

- 日 4月7日(金) 10:00~12:30~15:30、曇り時々小雨
- 場 やどりき水源林 パートナー林(ボランティア林、Bコースパートナー共有林)
- 参 日揮(株)および関連会社 新入社員 110名
及びスタッフ5名程
- 県 菊池様、藤井様、中田様、大西様
- イ L西出⑫、SL松本⑪、小清水⑤、佐藤⑤、大道⑥、伊藤⑦、小野⑦、齋藤⑧、阿部⑧、有坂⑧、鈴木⑧、上田⑩、徳岡⑪、澤村⑫、江上⑬、木村⑭、立花⑭、牧石⑭

下見(3/22)時に打ち合わせした小雨なら間伐をするという打ち合わせ通り??の小雨が降ったり止んだりの天候になってしまった。作業サイトは、林道奥とBコースのパートナー林で、各8班の計16班に分かれて間伐を行った。10:00 にバス3台が到着し初々しい青年たちが降りてきた。今年は日揮(株)および関連会社新人という事で外国の方は見受けられなかった(わからなかった)?

9:00~10:00 インストラクター打合せ、道具準備
10:00~10:30 参加者到着、移動、開会式、準備
10:30~12:30 間伐作業、12:30~13:00 閉会、移動
森林の役割、間伐等のレクチャーは事前に社内で行って来て頂いているので、インストラクターの皆さんは班毎に間伐に関する技術、安全について説明をしていました。ノコギリの経験が浅いのに径の大きな木(25~35cm)しか選木できず、伐倒に時間がかかり、枝払い・玉切りの時間が

とれなかった。とても1時間半の作業では終わらず、残ってしまった。時間がきたので全員下山し道具の手入れを行い、閉会をおこなった。ケガもなく終了したが、本年の初山ビル被害者が5名いました。これも事前に知識を得ていたのか、パニックにもならず大当たりの声があがり笑いがうまれました。その後皆さんはBBQ場所に向かわれました。

インストラクターは食事終了後に、残処理作業を行った。(13:30～15:30 残作業、事後打合せ)

林道奥グループ:掛り木1本、枝払い・玉切り4本、

Bコースグループ:掛り木1本、枝払い・玉切り2本

上記残作業が残ったため、各グループに分かれて、インスト全員で処置をした。そこはベテランのインストラクターで様々な知識、テクニックを使い処置したが、大きな木のため一時間半ほどの作業時間を要した。

(記 松本 保 ⑪)

ニュースレター「しずくちゃん便り」
ホームページは下記URLで見ることができます。

かながわの水源環境の
保全・再生をめざして

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f7006/p23426.html>

◆ キリンビール横浜工場

やどりき水源林での間伐活動及び自然観察

- 日 4月8日(土) 10時～12時 天候:雨
場 やどりき水源林 キリンビールパートナー林
参 キリンビール様 社員及び家族 84名
県 増子様、野澤様
イ L 西出⑫、佐藤⑤、小野⑦、山崎⑦、辻村⑨、

上田⑩、杉崎⑩、赤崎⑫、菌田⑬、立花⑭

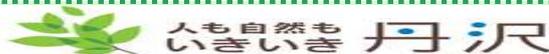
前日からの雨で間伐活動は中止となり、「コースター作り」と「自然観察」を行う事にしました。参加者の方を2つのグループに分けて、時間内に両方の活動ができるように時間配分をしました。

コースター作りでは、径10～15cmのヒノキ材を間伐鋸で10～20mmの厚さに伐り、両面を紙やすりで磨いて、側面の樹皮をはがせば完成です。皆さん、ご自分で作ったコースターのヒノキの香りを楽しんでおられました。

自然観察では、限られた時間ではありましたが、水源林の様子を見ていただき、満開のマメザクラを愛でたり、シカの痕跡を見つけたりして、楽しみました。特に小さいお子

様を連れてご家族の方の安全に配慮しつつ、芽吹き始めた森の中を皆さんで楽しみながら散策しました。

(記 西出 健一⑫、赤崎 さほり⑫)



丹沢の自然再生に取り組む 丹沢大山自然再生委員会の
ホームページをご覧ください。 <http://www.tanzawasaisei.jp/>

◆ 富士通株式会社 神奈川支社

「富士通グループ・神奈川」

- 日 4月8日(土) 10:00～14:30、雨
場 塚原ボランティアフィールド「富士通グループ・神奈川
始まりの森」、県立21世紀の森
参 27名(大人25名、小人2名)
イ L掛札⑭、小笠原⑩、後藤⑩、真貝⑪、

作業場所は、連日降り続いた雨のせいで足元がぬかるみ大変滑り易くなっており、今回は未経験者も多く小さなお子さんもいたので鋸を持った作業は危険と判断し枝打ち作業は中止とさせていただきます。

枝打ちを楽しみにしていた方も多く残念がる参加者もいて、少し申し訳ない気もしましたが「安全は何よりも優先する」との考えで苦渋の判断をいたしました。

塚原から県立21世紀の森へ移動し、ぐい呑みと2種類の竹笛を作りました。ぐい呑みは柿渋を塗り重ねて仕上げますが、塗り方に個性があつて皆さんそれぞれ味のあるぐい呑みを作られていました。

竹笛の組み立てでは音の出る位置を探すために何度も何度も吹いて確かめ、良い音が出た時の嬉しそうな、童心に返ったような表情が印象的でした。

時間に余裕があつたので、実作業ができなかった方も含めて、森林保全活動の内容(植樹、下刈り、枝打ち、間伐)や必要性、神奈川の水源が豊かで水不足にならない事など説明、更に県民負担の「水源環境税」についても説明しました。知らない間に収めていた税金に皆さん大層驚かれていました。

(記 掛札 貴子 ⑭)

森のめぐみの掲載は、
今月号はありません。
次掲載は6月号です。

森のめぐみ シリーズ

第2回 全国『山の日』フォーラム

2017年5月13日(土)、14日(日)

東京国際フォーラムにて開催!

東京都千代田区丸の内3-5-1 JR有楽町駅より徒歩1分
 主唱: 一般財団法人全国山の日協議会
 主催: 第2回全国「山の日」フォーラム実行委員会
 【構成団体】一般財団法人全国山の日協議会 警察庁 消防庁
 文部科学省 スポーツ庁 林野庁 国土交通省 観光庁 環境省

【5月13日(土)】

パート1

- 受付開始10:15 10:30~12:10
 テーマ 山と自然 ~山岳遭難救助を考える~
 1. 長野県の遭難救助現場から 宮崎茂男(前山岳遭難救助隊長)
 2. 那須高校生雪崩遭難事故 それからを考える
 萩原浩司(全国山の日協議会会員、日本山岳会会員)
 3. ヘリコプターによる会員制捜索サービスの試み
 AUTHENTIC JAPAN 株式会社担当者
 4. パネルディスカッション コーディネーター 飯田年穂(明治大学教授)

★★★★★★★★★★★★★★★★

パート2

- 受付開始12:30 12:45~14:35
 テーマ 山と自然 ~林業 環境と循環から地域の活性化へ~
 1. 信州の林業家として 熊崎一也(株)信州樫工房代表取締役
 2. 岩手の林業家として 小泉信太郎(林業家)
 3. 丹沢の林業家として 富田陽子(NPO 法人共和のもり)
 4. パネルディスカッション コメンテーター 林野庁担当官(調整中)
 コーディネーター 武川俊二(丹沢森の仲間たち 副理事長)

★★★★★★★★★★★★★★★★

パート3

- 受付開始14:55 15:10~17:00
 テーマ 山と自然 たくましい子ども達を育む
 1. ロングトレイルの活用を考える 山田俊行(トヨタ自然学校校長)
 2. 成城学園中学校の登山と安全 久保昌之(成城学園高等学校)
 3. 初中等教育における自然体験学習と登山
 文部科学省担当官(調整中)
 4. パネルディスカッション
 コーディネーター 中村 達(日本ロングトレイル協会 代表理事)

【5月14日(日)】

パート4

- 受付開始10:15 10:30~12:10
 百万人の山と自然 安全のための知識と技術 公開講座
 1. 山と自然の安全のための心構え 小林千穂(山岳ライター)
 2. 那須岳の遭難事故 それでも山と自然は子供たちを育む
 野口 健(アルピニスト)
 3. エベレスト登山から得たもの 伊藤 伴(登山家)
 4. トークショー コーディネーター 近藤謙司(国際山岳ガイド)

パート5

- 受付開始12:35 12:50~14:30
 テーマ 山と自然 ~国立公園の登山道と安全を考える~
 1. 国立公園の登山道を考える 環境省担当官(調整中)
 2. 防災、遭難防止の観点からの登山道標識 大蔵喜福
 (NPO 法人山の自然学クラブ理事長)
 3. スマート山岳道標の実験とこれから 荒金善一
 (公益財団法人安藤スポーツ・食文化振興財団事務局次長)
 4. パネルディスカッション
 コーディネーター 松沢貞一(株式会社白馬館社長)

パート6

- 受付開始14:45 15:00~16:50
 テーマ 山と自然 山岳科学から持続可能な日本を創生する
 趣旨説明 松岡憲知(筑波大学教授)

「やどりきの森へ行こう！」

要事前申込 特別企画

いずれの回も小田急線新松田駅北口に8時30分集合。
 水源林ゲート前までバスで移動!

(バス代各自負担、片道620円)。

最少催行人数20名

先着順(最終締切は各開催日2週間前の土曜日)

内容についてのお問い合わせは当財団まで。

第1回 6月3日(土)【緑したたる森で癒し体験】

林内コースを利用して森林の持つ様々な癒しパワーを体感
 新松田駅解散 14時10分頃(募集:30名)

第2回 10月21日(土)【家族で森のお手入れ体験】

成長の森での間伐体験と間伐木を使ったコースター作りなど
 新松田駅解散 15時10分頃(募集:10家族)

第3回 3月17日(土)【水源林のミツマタ群生観察】

早春に咲くミツマタ観察は人気の定番コース
 新松田駅解散 14時10分頃(募集:50名)

申込先(当日の案内)

NPO法人 かながわ森林インストラクターの会
 〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14
 サンシャインビル604
 E-mail: k-inst0981@friend.ocn.ne.jp

希望するイベント日時、参加者全員のお名前、住所、電話番号を記入の上、往復ハガキ、又はE-mailにてお申し込みください。締切後、詳細をお送りいたします。

特別企画「やどりきの森へ行こう！」 要・申込

2017年 6/3

免疫カアッ!!
 森の中でリラックス

【定員】30人(先着順)
 【申込締切】5月20日(土)
 【集合】小田急線 新松田駅北口に
 午前8時30分
 ※新松田駅~やどりき水源林ゲート間は路線バス
 延長利用(片道:620円各自負担)

ワツギの花に囲まれながら、
 やどりきの森で森林癒やし体
 験はいかがですか。
 森のフィトンチッドをたく
 さん浴びて、ハンモックに寝そ
 べて日ごろの疲れを癒やし
 てください。



案内人【定期】

水源林のミニガイド
 (1~2時間程度)
 【案内日時】
 毎週土・日曜日
 (12~2月の冬期を除く)
 【集合場所】
 水源林ゲート前
 (案内人実施時は看板が
 設置されます)
申込不要

アクセス

- ◆小田急小田原線 新松田駅
 北口またはJR御殿場線 松
 田駅南口から富士急湘南
 バス「寄」行き終点
 下車後、川沿いに上流へ
 徒歩40分。
- ◆赤い橋(寄大橋)の手前が
 水源林ゲートです。

やどりき水源林 ミニガイド

4月のピックス

やどりきの春の地べたの主が登場。
アズマヒキガエル



(撮影 飯澤氏⑨)

5月の水源林

匂うような萌えるような本格的な春です。新緑、花が、蛙のたまごやオタマジャクシ、鳥たちも。おいでくださいやどりきに！！

「森の案内人」情報

案内人がご案内します。案内と事故保険に無料です。

- 実施時間：毎週土曜・日曜・AM10時・PM1時、1～2時間程度
- 集合：水源林入口ゲート前
- 内容：森林インストラクターが自然観察にご案内します。森林のしくみ手入れなどについて説明致します。参加自由、参加費無料
- *10人以上の団体は事前に下記までご連絡ください。
- 問合せ：(公財)かながわトラスト
みどり財団 TEL：045-412-2255
FAX：045-412-2300
- ホームページ： <http://www.ktm.or.jp>
- E-mail： midori@ktm.or.jp
- やどりき水源林までの道順
小田急線新松田駅または JR 御殿場線松田駅下車、富士急湘南バス「寄(やどりき)」行き乗車約25分。バス下車後(案内板あり)川沿いに徒歩35～40分。
寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 & ご案内

2017 かながわ家づくりフェア 5/27



神奈川県新聞社とかながわ木づかい協議会(神奈川県森林再生課)共催の『かながわ家づくりフェア2017』を今年も開催します。開催場所は、横浜駅直結、徒歩5分という最高の立地にある横浜新都市ビル(そごう横浜店)内 2か所！
今年にはさらに水源環境保全課にも協力いただき「水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム(神奈川の水源環境保全を守る取り組みをご紹介いたします)も同時開催しております。(我が会のメンバーも参加しています)

◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員・読者の皆様から広く原稿を募集しています。

<広報全般についてのお問い合わせ>

松本 保

Mail : matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

Tel : 090-7962-3168

<電子配信担当> 赤崎 さほり

Mail : s_akasaki-k_instructor@live.jp

Tel : 090-6150-6173

<メール・手書き原稿送り先>

【本誌】松本 保

〒246-0037 横浜市瀬谷区橋戸 3-46-17

Fax: 045-301-9401

電話連絡先 : 090-7962-3168

Mail : matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

【別冊】黒川 敏史

〒247-0066 鎌倉市山崎 2273-1-515

Tel : 080-5477-2206

Mail :

kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp

【別冊はCCを】福島 正治 (事務局長)

〒214-0006 川崎市多摩区菅仙谷 3-1-1-204

Tel/Fax : 044-944-9423

Mail : fukky52000@yahoo.co.jp

原稿は随時受付けています。

森のなかまは過去号もご覧になれます。
(ホームページ) <http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01>
(HP担当：井出恒夫)

編集後記

★新緑輝く眩しい季節、気候もちょうど良いので、毎日ダイエットのため、ウォーキングしています。道端の植物を観察して歩くと楽しいですよ。

(大塚)

★暖かくなってきました。でも、夜はまだ寒い日も。こたつをいつしまうか、猫のご機嫌を伺っています。

(赤崎)

★目に青葉、山時鳥、初鯉の季節になって来ました。初鯉はまだですが特に山の青葉のグラデーションが素晴らしい時期になりました。

(菌田)

★5月号から別冊の編集を担当することになりました。少しでもお役に立てれば幸いです。

(黒川)

★4/11に長野県高遠の桜を見にバス旅行しましたが大荒れの天気。何とハヶ岳PAでは雪が降ってきました。

・今月号から別冊の担当が水口さん⑨から黒川さん⑭にバトンタッチされました。皆様のご協力をお願いします。

(松本)

年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。

郵便振替口座 00230-0-2454

かながわ森林インストラクターの会宛までご寄附2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。

振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。

編集人：松本 保
事務局：福島 正治
広報部：赤崎さほり 小川和恵
菌田栄哉 大塚晴子
小池 哉 黒川敏史
支援 伊藤恭造 大原正志 江頭淑子

神奈川 やまなみ五湖とは？

「やまなみ五湖」とは、神奈川県北西部にある相模湖、津久井湖、奥相模湖、丹沢湖、そして宮ヶ瀬湖の5つの人造湖のことです。

これらの湖は大切な水がめとして県民の生活を支える一方で、素晴らしい自然の宝庫でもあります。

神奈川県と相模原市、山北町、愛川町、そして清川村の4市町村は、自然を守りながら、やまなみ五湖地域を

「人と自然」「都市と地域」との交流の場にするを目指しています。

本サイトでは、そうしたやまなみ五湖地域で行われるイベントや生活・レジャーの情報、自然の恵みを活かした商品などを紹介し、交流をはかつていくことを目的としています。



<https://www.suigen.jp/>

「神奈川やまなみ五湖NAVI」